



## 平成 27 年国勢調査抽出速報集計結果 山梨県の概要

### 要 約

#### 1 年齢別人口

総人口に占める 65 歳以上人口の割合は、24.6%から 28.1%に上昇

- ・ 15 歳未満人口は 103,200 人（総人口の 12.5%）、15 歳～64 歳人口は 491,400 人（同 59.5%）、65 歳以上人口は 231,900 人（同 28.1%）
- ・ 65 歳以上人口の割合は、調査開始以来最高となっている

表 1 年齢 3 区分別人口及び割合 <統計表第 1 - 2 表>

(人、%)

	総数	15 歳未満 (年少人口)		15～64 歳 (生産年齢人口)		65 歳以上 (老年人口)	
		人数	割合	人数	割合	人数	割合
H17	884,515	127,627	14.4	562,495	63.6	193,580	21.9
H22	863,075	115,337	13.4	531,455	61.9	211,581	24.6
H27	835,200	103,200	12.5	491,400	59.5	231,900	28.1

注) 総数は、年齢「不詳」を含む。

#### 2 労働力状態・産業

##### (1) 労働力状態

労働力率は 61.3%、平成 22 年と比べると 0.5 ポイント低下

表 2 労働力状態 <統計表第 3 表>

(人、括弧内は%)

	総数	労働力人口			非労働力人口	労働力状態 「不詳」	労働力率 (%)
			就業者	完全失業者			
H17	756,075 (100)	469,288 (62.1)	444,200 (58.8)	25,088 (3.3)	275,021 (36.4)	11,766 (1.6)	63.1
H22	743,036 (100)	441,883 (59.5)	414,569 (55.8)	27,314 (3.7)	272,740 (36.7)	28,413 (3.8)	61.8
H27	723,300 (100)	430,400 (59.5)	410,600 (56.8)	19,900 (2.8)	271,400 (37.5)	21,500 (3.0)	61.3

労働力率：労働力状態「不詳」を除く 15 歳以上人口に占める労働力人口の割合

## (2) 産業

第3次産業に従事する者の割合は増加、第2次産業に従事する者の割合は減少

- ・ 第3次産業は262,100人(同63.8%)で約4,300人(1.8ポイント)増加
- ・ 第2次産業は114,400人(同27.9%)で約4,000人(0.6ポイント)減少

表3 産業大分類別人口<統計表第10-2表> (人、%)

	H27	H22	H17	H27	H22	H17
就業者数	410,600	414,569	443,889	100.0	100.0	100.0
第1次産業	29,400	29,906	37,947	7.2	7.2	8.5
第2次産業	114,400	118,367	134,682	27.9	28.5	30.3
第3次産業	262,100	257,789	267,341	63.8	62.0	60.2
分類不能の産業	4,700	8,507	3,919	1.1	2.0	0.9

## 3 世帯数・世帯人員

一般世帯に占める単身世帯の割合は、26.1%

表7 一般世帯数・世帯人員の状況<統計表第13表> (世帯、%、人)

	一般世帯数		世帯人員		一世帯当たり人員
	単身	2人以上世帯	世帯人員	一世帯当たり人員	
H17	82,843	237,327	866,893	2.71	
H22	90,064	237,011	845,170	2.59	
H27	82,400	233,100	817,900	2.6	

## 4 従業地・通学地

昼夜間人口比率は99.2%

表10 昼間人口・夜間人口、流出・流入人口<統計表第18表> (人、%)

	夜間人口	昼間人口	昼夜間人口比率	流入人口	流出口
H17	883,702	875,550	99.1	10,504	18,656
H22	863,075	854,854	99.0	9,319	17,540
H27	835,200	828,800	99.2	13,400	19,800

1 昼間人口：夜間人口 + 流入人口 - 流出口

2 昼夜間人口比率：昼間人口 ÷ 夜間人口